

正誤表

【書名】コンパイラ – 言語処理系の基礎から yacc/lex まで –

【刷数】初版第 1 刷

2009/ 4/14 版

番号	ページ	行など	訂正前	訂正後	備考
1	9	13	T 1	T1	T と 1 との間をつめる
2	11	10	language	language	
3	11	11	accembly	assembly	
4	14	図 1.5	問 1.2	問 1.1	
5	20	定義 2.1	文法とは、 $G = \dots$	文法とは、4 項組 $G = \dots$	挿入
6	25	図 2.1(b)	$\delta(q, a)$	$\delta(q, a_i)$	添字
7	26	17	a	a_i	添字
8	27	図 2.2(b)	$\delta(q, a, Z)$	$\delta(q, a_i, Z)$	添字
9	27	図 2.2(b)	a)	(a)	
10	30	14	示した	述べた	
11	31	図 2.4(b)	(a) 図の状態 p に対応する状態から状態 q 対応する状態への枝のラベル a を b に訂正		
12	32	8	を考えると、 $E(S)$ は、次のようにして求める。	を考慮。すると、 $E(S)$ は、次のようにして求められる。	
13	32	アルゴリズム 2.1 の 1	M	M^n	上添字
14	37	例 2.15、4 行目	元であると	元であるかどうかを	
15	39	図 2.9	q_0 の自己ループ		削除
16	40	演習問題 2.4	$i, j \geq 0$	$i, j > 0$	
17	48	4	δ	δ_a	
18	51	図 3.3	字句解釈終了	字句解析終了	
19	52	4	例 3.8	例 3.7	
20	56	問 4.2	例 4.2 の式の直後、「したがって」以下の文の前に移動		
21	58	5、8	累乗	冪乗	
22	60	3	... その親となる点に左辺の...	... その親となる点を作り、それに左辺の...	挿入
23	61	脚注 6	ここに	ここ	
24	62	3	文脈自由文法であるとき、	文脈自由文法に対して、	

番号	ページ	行など	訂正前	訂正後	備考	
25	62	20	(Left to right)	(Left-to-right)	ハイフン	
26	63	7	G は左再帰的	A は左再帰的		
27	63	8	といわれる。	といい、 G も左再帰的という。	追加	
28	64	4	(leaf factor)	(left factor)	索引にもある	
29	65	定義 4.1	である		削除	
30	68	2	$abcbabbacabb\$$	$abaaabaa\$$		
31	68	2	$bcbabbacabb\$$	$baaabaa\$$		
32	69	12	得られ、還元が 1 ステップ進み、この後、	得られる。この後、	削除	
33	69	17	や、いくつかの	や、左因子のくり出しのためにいくつかの	挿入	
34	69	下から 3	を保証するに		削除	
35	69	下から 2	も必要である。	によって保証される。		
36	70	8	$aaba$	$aaba\$$	$\$$ 追加。同じ行の $aaba$ (2 箇所) も $aaba\$$	
37	71	15	「 $LL(1)$ 文法は」を $First_1$ の前に移動			
38	71	脚注 12、3 行目	エンドマーカであり、	エンドマーカである。		
39	73	2	「無限集合 V^* であるが、」の「が」の前に、「ので、定義域のすべてのものに対して $First_1$ の値を求められないように思われる」を挿入			
40	75	8	であるから、	であり、		
41	75	8	となる。	である。		
42	76	8	「加えられる」の後 (。の前) に、「(例 4.9 より、 $First_1(T') = \{\epsilon, *\}$ である)」を挿入			
43	76	例 4.10 の表のステップ 4、5	$\{\$$	$\{\$, \}$) 追加	
44	77	4.4.4 節 3 行目	例 4.4	例 4.7		
45	77	4.4.4 節 6-7 行目	7 行目の最後の「(図 4.4)」を 1 つ前の文の後に移動し、「ある (図 4.4)」とする			
46	78	1-2	「取り除いたもの」以下を、「すなわち、 $u = First_1(u)u'$ であったとき、 $u = u'$ とし、 $Z = \eta$ とする (μ は変わらない)」とする。			

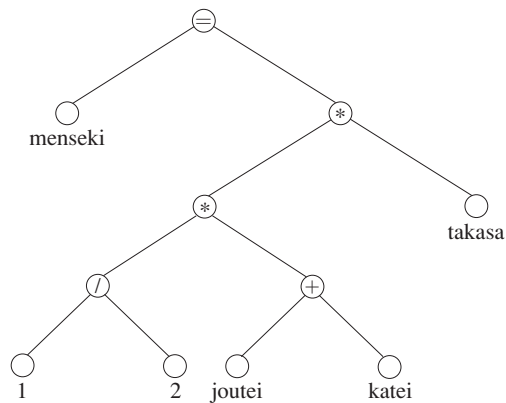
番号	ページ	行など	訂正前	訂正後	備考
47	78	3	ξ	μ	
48	85	14	S_0	S'	
49	85	15	\leftarrow	\in	
50	85	19	どうかのチェックをする	どうかをチェックする	
51	85	20	明らかに、		削除
52	85	21	十分である。	受理される。	
53	86	3	$\{q(i, j)\}$ 、	$\{q(i, j)\}$ とし、	挿入
54	86	4	に対して	であるとき	
55	86	4 - 5	とする。	を加える。	
56	87	図 5.3(a)	$S' \rightarrow S \circ \$$ を囲む円を 2 重にする。		
57	89	アルゴリズム 5.1 の 6	行末に「とする。」を加える。		挿入
58	92	T_{LR} 表	注として、「表の一部 (**で指示) の値を抜いてある。」を加える。		注の追加
59	92	問 5.4	例の表	例 5.6 の表 T_{LR}	
60	92	T_{LR} 表、 I_5 行	** Rp_1 Rp_1	** ** Rp_1	
61	93	2	M_G の		削除
62	93	2	行かない	動作しない	
63	93	3-4	一部分であり、	一部であるから、	
64	93	下から 9 行目	から 2 つ目		削除
65	93	下から 8 行目	いるから、	いる。	
66	93	下から 8 行目	「この状態で、 A を読んだとき遷移する状態 J は」を行末から 7 行目の間に挿入		
67	93	下から 7 行目	とすればよいことが分かる。	で求められる。	
68	93	下から 5 行目	ことができ、 $J = Goto(I, A)$ を計算する		削除
69	94	図 5.5	GoTo	Goto	
70	94	図 5.5	R_p	Rp	p は添字ではない。
71	95	8	「 $Goto(I, A) = J$ として」を γ の前に挿入		

番号	ページ	行など	訂正前	訂正後	備考
72	96	5	$LR(1)$ 項	$LR(1)$ 項 ($LR(1)$ item)	挿入
73	96	例 5.8	について考えて	の動作を調べて	
74	96	下から 5 行目	の左側	の右辺の左側	同ページ、最下段も
75	97	下から 9 行目	が加えて	を加えて	
76	97	下から 6 行目	があるから、	と、	
77	98	9	を入力すると	に対して	
78	99	演習問題 5.1 の 5	S	単純	
79	101	13	意味解析が	意味解析で	
80	101	16	意味解析が	意味解析で	
81	119	下から 13 行目	(quadruple)	(quadruple)	
82	129	下から 1 行目	定義 (definition) された	定義された (defined)	
83	163	下から 5 行目	21 Comment "/" ([^]*"***")**/"	21 Comment "/" ([^]* "*" ("**")* [^/])**" ("**")**/"	
84	181	例 A.7	A.7	A.1	例 A.8、A.9 も A.2、A.3 に
85	183	本文の下から 4 行目	適用されたとすれば、	適用されるとすれば、	
86	183	本文の下から 4 行目	すれば、 p_1 の	すれば、その前に p_1 の	挿入
87	183	本文の下から 3 行目	現れるなければ	現れなければ	削除
88	184	5	ξ	μ	
89	184	下から 5 行目	このように		削除
90	184	下から 4 行目	定まることは、	定まる。このことは、	挿入
91	185	下から 8 行目	で、それは文法	では、文法	
92	199	下から 7 行目	導出木	導出に対応する導出木 (図省略)	挿入

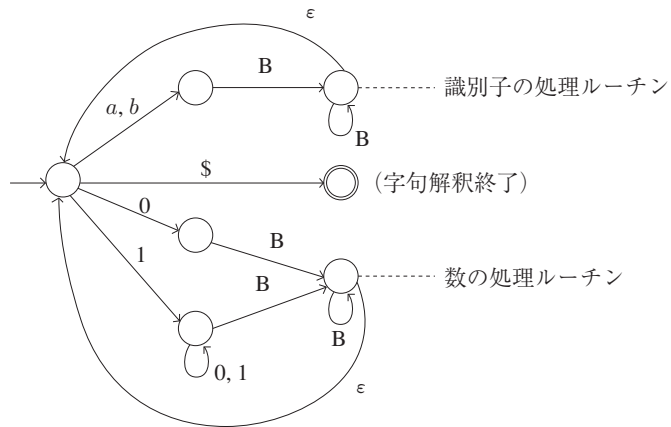
番号	ページ	行など	訂正前	訂正後	備考
93	202	下から5行目	$T_{LR}(I_5, a) = Rp_1$	$T_{LR}(I_5, a) = T_{LR}(I_5, b) =$	未定義のため空欄
94	202	表の $T_{LL}(T', \$)$ 要素		p_6	追加

図の訂正

p.8, 図 1.1 次のように訂正する。



p.51, 図 3.3 次のように訂正する。



p.212, 図 B.21 次のように訂正する。

